

2025年9月開講（連続講座） 助かることと助けることのあいだを結ぶ 防災と減災のための リスクマネジメント

大学コンソーシアム京都発行
オープンバッジ対象講座

参加方法

講義（対面・オンライン）全8回

定員：対面38名（場所：キャンパスプラザ京都2階 第3会議室）・配信100名
全8回セットでの受講を推奨しますが、1回単位での受講も可能です。

*ただし、オプションの「防災まち歩きワークショップ」のみの受講はできません。

災害多発時代という表現を随所で見えるようになりました。そもそも日本は「災害列島」として、過去の災害の課題や教訓に学ぶ必要を訴える記事などもあります。とかく災害は天災か人災かの区別で語られる場合が多いものの、2011年の東日本大震災が発災した直後には哲学者の梅原猛さんが「文明災」という観点を提示し、新しい価値観で将来を展望する必要があると説いています。

そこでこの講座では、災害を防ぐという防災の観点に加えて、災害発生時の被害が減る「減災」社会の実現に向けた工夫を誰もが重ねていくための発想と知識と心構えを身につけることを目指します。職場で、家庭で、また旅先などで、自らが助かり、他者を助けることができる知恵を共に学び、深めましょう。

申込締切

2025年9月22日（月）

1回単位での受講のお申し込みは各講義日の5日前まで

右記2次元コードからお申し込みください。



お申し込みはこちらから
（大学コンソーシアム京都HP）

受講料

全8回セット：8,000円（税込）

【オプション1回】
ワークショップ：1,000円（税込）

1回単位での受講の場合：1回1,000円（税込）

●講義概要 <全8回／オプション「防災まち歩きワークショップ」1回>

コーディネーター 山口 洋典氏(立命館大学共通教育推進機構教授)

回	日	時	テーマ	タイトル	担当	概要
1	9/27 (土)	13:30 ～ 15:00	インクルーシブ 防災	誰一人取りのこさ ない防災とは	立木 茂雄 氏 同志社大学 社会学部教授	災害時に被害が集中しやすい高齢者や障がい者などの社会的弱者を取り残さない「インクルーシブ防災」は、誰一人取り残さない社会の実現に向けた重要な視点です。福祉と防災をつなぐ取り組みについて、別府市の実践事例から学びます。
2		15:15 ～ 16:45	行動の選択	あなたならどうす る？	山口 洋典 氏 立命館大学 共通教育推進機構教授	災害対応のジレンマを疑似体験できる「クロスロード」というカード型ゲームを体験します。その上で、自ら災害状況を設定し、行動をYES／NOで問いつける演習を通じて正解のない問題への判断の多様性と重要性を体感する機会とします。
3	10/25 (土)	13:30 ～ 15:00	避難行動	「自らの命をお互 いに守りあう」避 難について	松田 曜子 氏 京都大学 防災研究所准教授	「自らの命は自らだけでは守れない」という前提に立ち、支え合いによる避難の在り方について考える講義です。個人責任を問うのではなく、共助を前提とした避難行動の準備について理解を深めていきます。
4		15:15 ～ 16:45	自主防災	地域住民だからこ そ可能な「立ち向 かう防災」	太田 興 氏 防災寺子屋・京都 代表	阪神・淡路大震災の経験をもとに、「地域こそが災害対応の最前線である」という意識のもとで継続されている防災啓発活動を紹介します。住民一人ひとりが災害を自分の問題として捉えるための工夫にも注目します。
【オプション】 11/29(土) 10:00～11:30 「防災まち歩きワークショップ」 <20名・任意参加・詳細は第2回講義にて案内・参加費：別途1,000円(税込)> 京都でも有数の歴史的な景観で知られる先斗町界隈を文化遺産防災の観点から探究します。(案内：金 度源 氏)						
5	11/29 (土)	13:30 ～ 15:00	レジリエンス	歴史的な町並みか ら学ぶ、そして備 える	金 度源 氏 立命館大学 理工学部准教授	伝統的な知恵と近現代の防災技術を融合し、歴史都市や文化的景観を自然災害からどう守るかという地域デザインの課題を取り上げます。最新の研究成果をもとに、文化の継承と防災の両立を目指す視点を提示します。
6		15:15 ～ 16:45	情報システム	わがこと意識を喚 起する情報提示デ ザイン	泉 朋子 氏 立命館大学 情報理工学部教授	多くの観光客が訪れる京都では、大規模災害時に多数の帰宅困難者が発生することを想定し、安全な避難誘導の仕組みづくりが進められています。災害を「わがこと」として捉えてもらうための情報発信の工夫についても紹介します。
7	12/13 (土)	13:30 ～ 15:00	BCP (事業継続計画)	生命と生活と生計 を守るための計画 (LCP)づくりの視点	諫山 憲司 氏 明治国際医療大学 防災救急救助研究所/ 保健医療学部教授	災害や感染症といった有事だけでなく、平時の暮らしを守るためのBCP(事業継続計画)について、基本的な考え方と実践的な視点を学びます。医療・介護・福祉分野の多職種連携や地域のつながりの重要性についても考えていきます。
8		15:15 ～ 16:45	ボランティア	被災地のリレーの グループ・ダイナ ミックス	渥美 公秀 氏 大阪大学大学院 人間科学研究科教授	かつての被災者が他の被災地を支援する「被災地のリレー」の実践を取り上げ、地域間のつながりが持つ力とその仕組みに注目します。支援の経験がどのように次世代へと継承されていくかを研究成果とともに振り返ります。

●お申し込みにあたって

(1)受講対象

社会人(業種・職種・専門知識の有無は問いません。)

会社員、公務員、大学教職員、ボランティアスタッフ等へ受講を推奨します。

(2)お申し込み後の対応について

講座中止の場合を除いて、受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。都合により講座の延期や中止、内容変更等が生じる場合がございます。変更の際には、大学コンソーシアム京都ホームページの「重要なお知らせ」及びお申し込み時のメールアドレス宛にご連絡いたします。

(3)京カレッジ会員について

お申し込み時に希望された方は、受講料のご入金確認後に京カレッジ会員証(会員費：無料)を発行いたします。京カレッジ会員の特典として、京カレッジ募集ガイドに記載されている各大学・短期大学の図書館が利用可能となります。(利用については、各館の規定や指示に従いご利用ください。)

※詳細は右記2次元コードよりご確認ください。



京カレッジ募集ガイド
図書館利用一覧

(4)お問い合わせ先

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
キャンパスプラザ京都内 大学コンソーシアム京都「京カレッジ担当」
TEL: 075-353-9140 FAX: 075-353-9121

【お問合せ受付時間】 火～土曜 9:00～17:00

京カレッジリカレント

検索



主催：京都市・公益財団法人 大学コンソーシアム京都

協力：立命館大学災害危機レジリエンス研究センター

発行：京都市 総合企画局 国際都市共創推進室

京都市印刷物 第071210号 令和7年8月

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ

